

3月定例議会 町政報告

令和7年第2回小坂町議会が2月26日から3月7日までの会期で開かれ、予算
・ 条例改正等33議案が可決されました。町政報告の要旨をお伝えします。

町政報告要旨

大規模畑作振興推進の一環として、大手菓子メーカーへの馬鈴薯出荷を目指し、平成30年度から始まった取り組みは7年目となりました。

今年度から本格栽培に移行し、栽培に2法人が取り組みました。栽培圃場は上川原地区の転作田に約280アール、

鶴地区の畑地に約260アールの合計で約540アールとなり、前年度より約100アール増加しています。このほかにも余路米地区の農家で1戸が試験栽培を実施しました。

品種ごとの栽培面積は加工用品種のオホーツクチップが約340アール、市場用のキタアカリとトウヤが約200アールです。

産地拡大に向けた取り組みは、作業の効率化を目的に、種イモ消毒・植付け・収穫・選別・出荷作業は小坂町畑作振興センターの大型機械を活用し、作業受託組織である小坂町ポテトコントラクターが

共同で行っています。

収穫量・品質向上に向けた取り組みは、秋田県や大手菓子メーカーからの指導を受けながら水捌け対策、雑草対策、病害虫防除対策を実施しています。

今年度は、6月下旬から7月中旬の長雨の影響で健全な葉色を長く保つことが難しくなり、全体的に馬鈴薯は小さめとなりました。

また、新たに作付した畑地は、以前に植えていたキクイモが雑草化してしまい、馬鈴薯の生育を阻害し、さらに連作障害と思われる症状や収穫作業時に打撲症状が発生した圃場もあり、買取り価格の低下を招くこともありました。

最終的に加工用のオホーツクチップは、約61トンを出荷して販売額は282万2,877円。市場用のキタアカリとトウヤは、約6トンを出荷して販売額は37万32円となり、学校給食への供給や販路開拓についても関係機関と連携して実施しています。

教育行政報告要旨

1月10日から12日開催の秋田県中学校スキー大会、クロスカントリー競技にて、澤田理央さんが女子クラシカルで1位、フリーで1位、永田珠梨さんが女子クラシカルで6位、フリーで6位、成田芽生さんが女子クラシカルで7位、フリーで7位でした。

1月24日から26日開催の東北中学校スキー大会では、澤田理央さんがクラシカルで1位、フリーで1位でした。永田珠梨さんと成田芽生さんも大会に出場し、健闘しました。

また、女子リレーでは小坂中チームが1位となりました。2月4日から7日開催の全国中学校スキー大会では、澤田理央さんがクラシカルで4位、フリーで6位でした。永田珠梨さんと成田芽生さんも大会に出場し健闘しました。

また、女子リレーで秋田県チームに澤田理央さんが2走で出場し3位でした。

1月17日から19日開催の秋田県民スポーツ大会スキー競技会で、クロスカントリー競技で、永田悠真さんが男子クラシカルで4位、フリーで4位、成田羽汰さんが男子クラシカルで6位、フリーで6位となり、全日本スポーツ大会の出場権を獲得しました。

1月25日開催の鹿角小学校スキー大会では、金丸凄也さんが4年男子で1位、永田悠真さんが5年男子で1位、成田羽汰さんが6年男子で2位でした。

また、男子リレーは10大会ぶりの優勝でした。

小坂小学校スクールバンド部は、12月15日開催のアンサンブルコンテスト県北地区予選大会で、金管5重奏が金賞を受賞し、秋田県大会の出場権を獲得しました。

1月13日開催の全日本アンサンブルコンテスト秋田県大会では、銀賞を受賞しました。小坂中学校吹奏楽部は、12月14日開催のアンサンブルコンテスト県北地区予選大会で管打8重奏が金賞を受賞し、秋

田県大会の出場権を獲得しました。

1月12日開催の全日本アンサンブルコンテスト秋田県大会では、銀賞を受賞しました。児童生徒の活躍は、小中一貫校として、小学校での学びが中学校へと上手くつながり、切磋琢磨している姿であり、日々の練習における、学校・保護者をはじめ、地域指導者や関係団体の皆さんのご理解ご指導の賜と思っています。

主な議決事項

● 条例の一部改正

◆ 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例

◆ 職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例

◆ 小坂町職員の給与に関する条例

◆ 小坂町職員等の旅費に関する条例

◆ 小坂町議会の議員の議員報酬等に関する条例

◆ 小坂町監査委員に関する条例

◆ 小坂町家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

● 令和6年度補正予算 8件

● 令和7年度一般会計予算 1件

● 令和7年度特別会計予算 9件